長洲町立長洲小学校 校長便り No.119

いく必要がある。

習につないで欲しいと思います。

\*

## 頭の無

みんなの居場所の裏面は、小学生に ご家族の団らんの話題にしてみてくだ さい。会話が広がります。

令和5年9月25日(月)

事として言動を律して を律することができて 当に自分事として自分 は本当に解っていたの 要だ。以前、「それは解 として考えることが重 か?不祥事防止は「他 が最も高いのではない るが、自分自身のリスク 防止の啓発を行ってい ら職員に対して不祥事 育界全体に影響が及ぶ く多くの仲間や家族、教 起こせば、自分だけでな 目の前に立ちはだかる。 いるかどうか、疑問符が だろうかと、首を傾げて た。最近、あの頃の自分 て叫んでいた自分がい っている。」と胸を張っ わいせつ行為…。立場が メント、信用失墜行為 故、飲酒、窃盗、ハラス ということだ。常に自分 は、自分がもし不祥事を 人事」ではなく「自分事 しまう。いや、今でも本 今、断言できること

ところの公務員に限ら 自覚してしまう。交通事 クがあることを改めて ると、多くの不祥事リス ず各方面での不祥事が 新聞記事等で<br />
取沙汰さ れている。自身を振り返 昨今、教職員を含めた

## 平和学習で何を学ぶか

りでは、未来の世界平和に繋がっていきません。戦争が 平和学習の名のとおり平和について学習するのですが、 す。そして、歴史学習で学んだことを基に平和な世界を かっています。だから、過去のことにしがみついてばか と「アメリカは原爆を落としたから悪い国だ。」なんて 自分の知識に客観性が生まれません。主観だけで考える 史を更に詳しく学習して、どのような経緯で戦争が始ま 前の事前学習で、子供達の心の中には「戦争反対」「核 子供達は学習のスタートラインに立ちました。修学旅行 で最も大きな目標といっていいのが「平和学習」です。 ることが大切です。学習の側面、思い出づくりの側面 こと」です。実りのある修学旅行にして、今後の平和学 いっても過言ではありません。そのために、子供達に期 をどのように育むかは、子供達の学びにかかっていると いのか、色々なアイデアも浮かんでくるでしょう。未来 実現するために、私達はどのようなことをしていけばい が噴出し、それを掘り下げていくと多くの発見がありま す。平和というテーマに絞って考えてみても多くの疑問 なことが発見でき、改めて歴史学習に面白さを感じま 起きるには理由があります。問題をたどっていくと色々 でも戦争はいけない、核兵器はいけないということは分 争は歴史上の一事実としてとらえることが重要です。誰 交流が最も大きな割合を占める日本ですから、太平洋戦 うような考え方ではだめなのです。現在はアメリカとの 民感情は?世論は?…。と、多くの事を学習しなければ ったのか、当時の世界はどのような状態だったのか、国 兵器反対」の意識はしっかりと根付くと思います。しか 仲間づくりの側面と、目的はたくさんあります。その中 分の課題と照らして必要なものをしっかりとまとめる 万法で情報を多く収集すること」 「情報を基にして、 自 待することは、「課題をしっかり設定すること」「色々な ことになってしまいます。「やられたらやり返す」とい っかり考える必要があります。目的意識をもって参加す さて、実りあるものにするために何が必要なのかをし まだまだ言葉を覚えただけに過ぎず、これからは歴 てな具合に「指導」を済ませ、私は、一人各班の情報を集めました。今のところ、

6年生は修学旅行の学習をスタートしています

まい、コースの一部を車で移動してしまいました。(嘉島西小時代のことです。これ なく、 コース上を行ったり来たりしながら「指導」を行います。 指導と言っても、 優 ていました。) では、実際にはどのような指導を行うのか、次の通りです。 私が現場 がきっかけでリベンジの強歩会が行われたことは、これまでのみんなの居場所に書い ことはナイトハイクをやっていると日常茶飯事で、私は指導者としてただ歩くだけで に到着してからの場面です。 しく「一緒に頑張ろうよ。」 等という声かけはしません。 以前、 このような声掛けを した私の教え子がいたのですが、その時声を掛けられた児童は逆に「甘え」が出てし

「あれ~、こんなところに座って動かなくなっている人がいる。どうしたのかな~?

「・・・(無言)」 反応がないので今度は厳しい口調で・・・

「〇〇! まさか車に乗るん? か~っ、情けにゃ~ね、そっでよかつか?」

「お~こわ、早く車に乗れ! 班のメンバーがあくしゃうっとるぞ! 個人のわがま 「・・・(無言のままこちらを睨みます。)」 まは迷惑なだけ!みんなに謝ってはよ車に乗れ!」

ここで、周りの子たちは、そんな訳にはいかない、全員で歩き通すぞと声を掛けます --「お前達もそぎゃんこつばせんちゃよか。おいて行け、そっが楽ぞ。」 **俺達が両脇支えるけん、行くぞ!」 その姿を見て私は畳みかけます。** 

いた子供に変化が現れ、泣きながら立ち上がり歩き始めました。 か私の様な「ワル者」に立ち向かうために協力します。そんなこんなで、座り込んで 「大丈夫や?お前のペースでよかけんね。」頷く子供。 ナイトハイクで私は性格の悪いただのおじさんでしたね。すると、教え子達は何故

度となく見てきました。そして、つくづく思います。やってよかったと。(つづく) を、泣きながら、そして拍手を送りながら見守る保護者の皆様、私はこのシーンを何 を見たら思わず泣いてしまいました。」 とのことでした。 続々とゴールに入る子供達 を掛けています。後で本人に聞いてみると、ゴールしたことに感動して、「お母さん た。ある男の子は、笑顔でこそゴールしたものの、その後お母さんを見つけると泣き きてもその通りに動くことは稀でした。ゴールでは多くのドラマが待ち受けていまし 変スムーズになります。私は担任生活の後半は6年生飛び入りが多く、言葉で説明で 飛び入りではこうなることが多いです。5年生で経験していると6年生での取組は大 中のペース配分や休憩時間が長いことが影響して、毎年このようになります。6年生 ながら駆け寄りました。お母さんはうつむいた彼の顔を覗き込むようにしながら、声 班は異常なしとの報告で、自分のペースで歩き始めました。 予想通り、ゴール時刻は遅れました。できれば日の出前に到着したいのですが、涂

# シリーズ「自分を語る」#119

「今から行く!」 私は逆方向に向かって歩き始めます。 「センセ〜、〇班からです。〇〇君が座り込んで動きません。どうしますか?」

可

)